

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

難聴者支援、コーディネートをテーマに学びました 全聴情協コミュニケーション支援担当者研修会

7月8日～10日、NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会（全聴情協）の「コミュニケーション支援担当者研修会」にセンターから清水職員が参加しました。京都市聴覚言語障害センターを会場に、31の施設・機関から39人の参加がありました。

講義を聴き、グループワーク等での意見交換を行いました。特に印象深かったのは、2日目に行われた『難聴者のニーズの理解』です。「難聴をどう定義するか」という見出しに対して、講師から「レッテルを貼り、決めつけるということではない。難聴について聴力・多様さ・体験的定義などから多面的に捉えることである」と説明がありました。相手をよく見て、相手に合わせる事が大切で、人それぞれ、場面それぞれで異なるものです。これは、ろう者にも共通していると感じました。中途失聴者の多くは「聴覚障害」という言葉に抵抗があるのかもしれない、との話もあり「聞こえにくい」と言い換えることで、自身に支援が必要である、と気付ける人が増える事例を知りました。そして、一番印象に残っているのは「難聴者を一言で表すと“聞きたい思い”の強い人である」との話です。

他県のコーディネーターと意見交換することで、同じ悩みを共有し、有意義な助言もいただき、今後の活動に繋げていきたいと刺激を受けました。（清水）



富山県から、障害のある人もない人もともに生きる社会へのウェブサイト 「スマイリータウン」が開設されました。

<http://smileytown-toyama.jp/>

障害者差別解消への富山県条例制定により、障害者の活動紹介、イベント情報お知らせなどをホームページで掲載しています。富山県聴覚障害者協会からの案内も掲載しています。

富山県聴覚障害者協会のホームページとともにご覧下さい。

センター利用の実績 6月21日～7月20日

- 来所者 合計約540名
聴障者約261名、健聴者約279名
- 意思疎通支援コーディネート 83件
- ライブラリー貸出 1件1本
- 相談対応5件 ●部屋貸出42件

★センター運営募金★

郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者

センターを支える会

匿名 20,000円

ありがとうございます。

※センターは、月曜日を完全閉館（無人）としています。よろしくお願ひします。